

札幌証券取引所：上場会社説明会

「グローバル成長企業」JT

日本たばこ産業株式会社
コミュニケーション責任者 田中泰行

2010年12月10日
証券コード：2914

ひとの
ときを、
想う。 JT

本資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。)

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

目次

会社概要と業績推移

会社概要	4
事業別売上高・EBITDA	5
業績推移	6
中期経営計画「JT-11」	7

事業別概況

国内たばこ事業：概況	8
：イノベーション	9
：ピアニッシモからの新商品	10
：マイルドセブンからの新商品	11
海外たばこ事業：概況	12
：GFB	13
：グローバル成長	14
医薬事業	15
食品事業	16

CSR活動

社会・環境への取り組み	17
-------------	-------	----

株主様への取り組み

株主還元	18
株主優待・株主様とのコミュニケーション	19

会社概要

- 名称 日本たばこ産業株式会社
- コミュニケーションネーム JT
- 設立 1985年4月1日
- 資本金 1,000億円
- 本社所在地 東京都港区虎ノ門2-2-1
- 従業員 49,665人(連結) 8,961人(単体)
- グループ会社数 連結子会社:258社

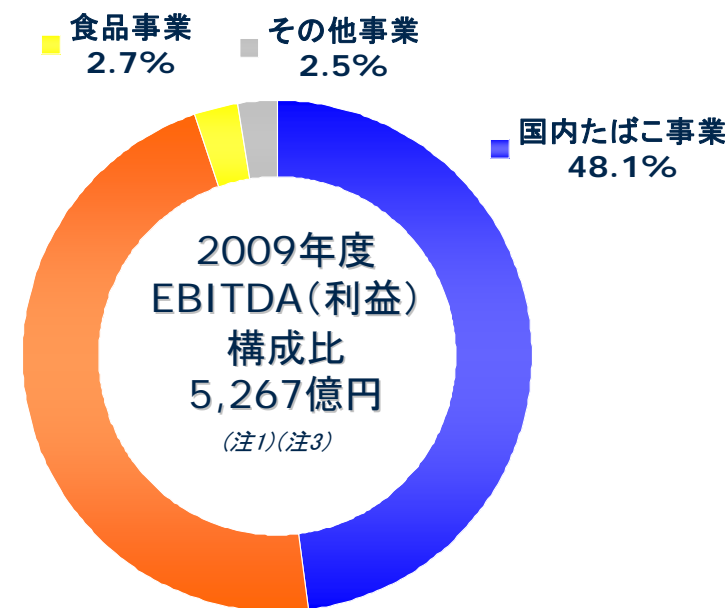
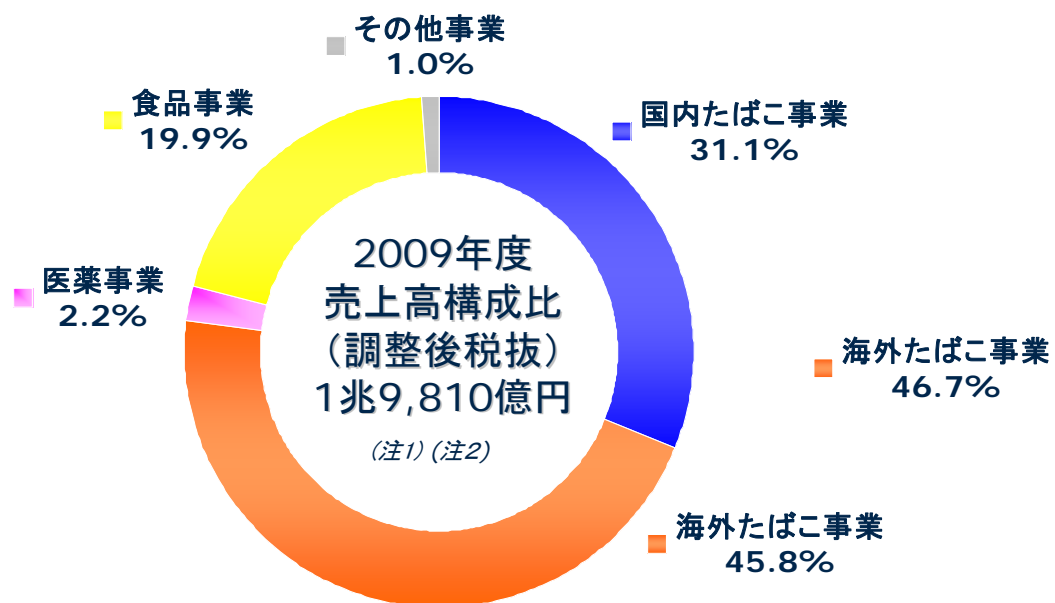


虎ノ門本社ビル

国内たばこ事業	海外たばこ事業	医薬事業	食品事業

事業別売上高・EBITDA

2009年度実績



(注1): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

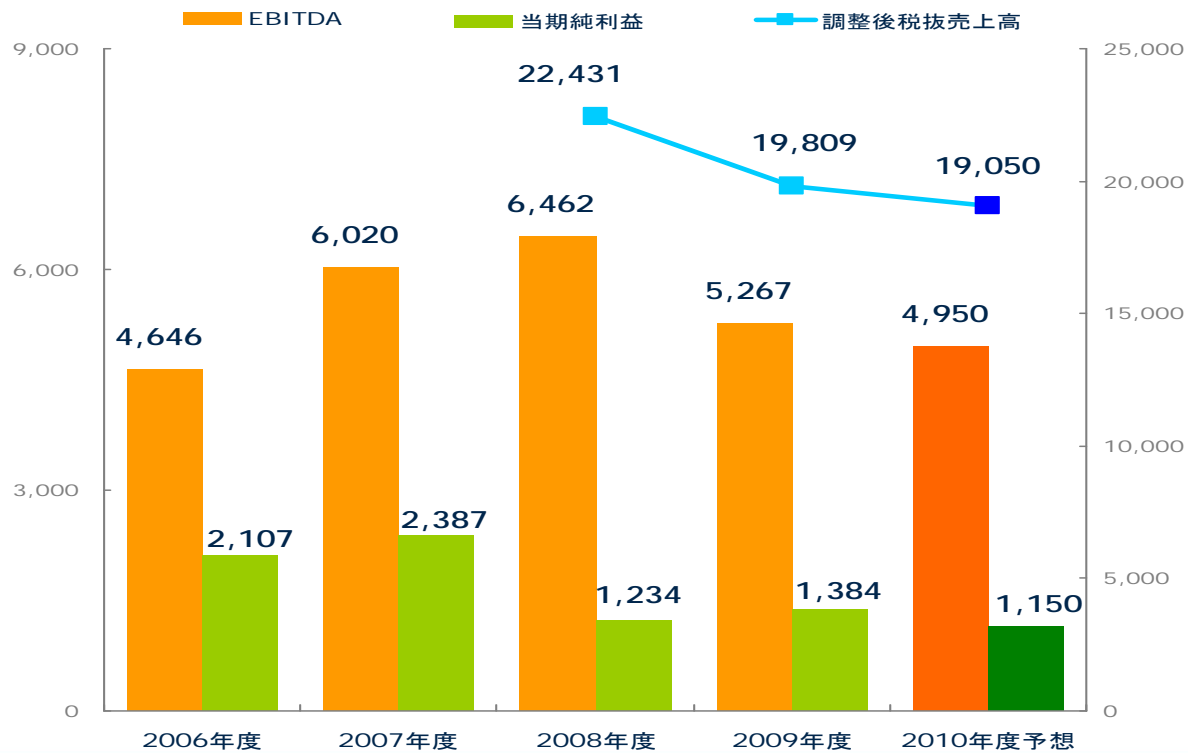
(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国等を除く
海外たばこ事業の物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を除く

(注3): EBITDA=営業利益+償却費

業績推移

2010年度目標

- 全社業績は国内たばこ事業における大幅増税により減収・減益
 - 国内たばこ事業：定価改定、価格に相応しい品質・サービスの向上
 - 海外たばこ事業：シェア伸長および単価上昇効果による利益成長
 - 医薬事業：引き続き世界レベルの新薬創出を目指す
 - 食品事業：注力事業分野へ戦力を集中し、将来の成長に向けて事業基盤を更に強化



注)調整後税売上高は、2008年度より公表しています。

中期経営計画:JT-11

2009年度を基点とし、事業モメンタムで年平均5%以上のEBITDA成長をめざす

各事業目標

■国内たばこ事業

2009年度EBITDA水準の維持を目指す

■海外たばこ事業

2009年度を基点に、為替レート一定の前提で年平均10%以上のEBITDA成長継続を目指す

■医薬事業

後期開発品の充実とR&Dパイプラインの強化を目指す

■食品事業

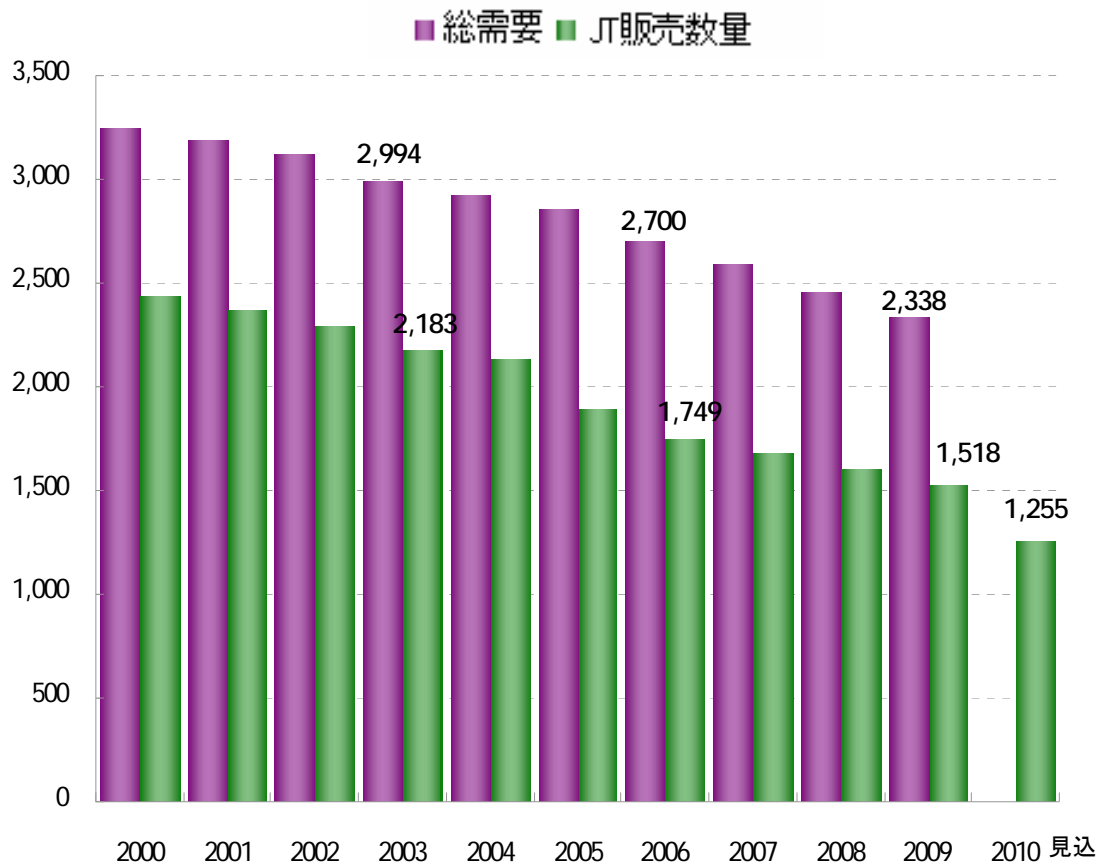
2009年度EBITDA+100億円を目指す



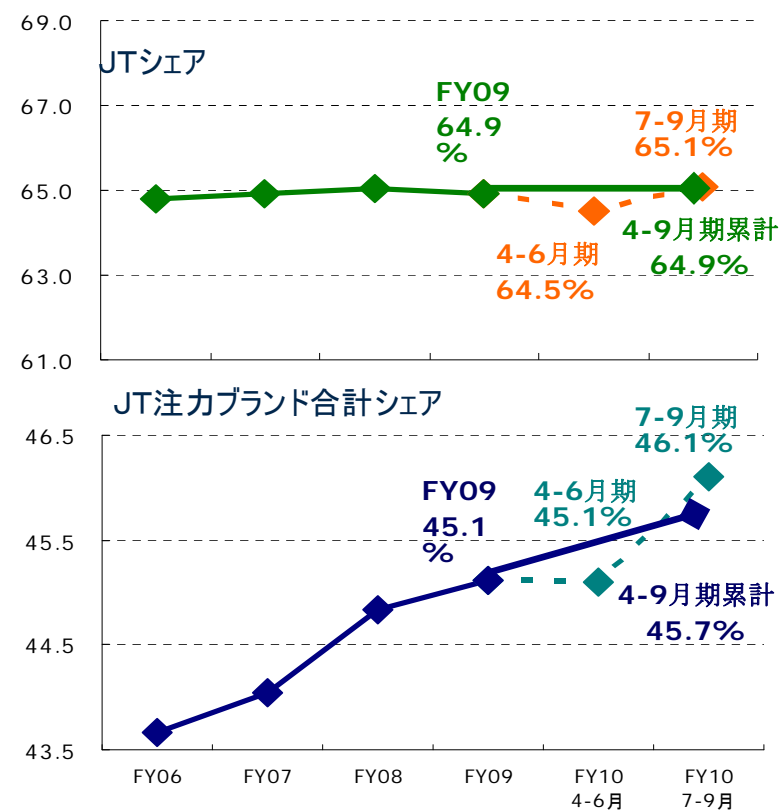
JTグループならではの多様な価値をお客様に提供するグローバル成長企業

国内たばこ事業：概況

国内たばこ販売数量 (2000-2010見込)



国内JT商品シェア (2006-2010上期)



国内たばこ事業：イノベーション



■ 無煙たばこ「ゼロスタイル・ミント」発売

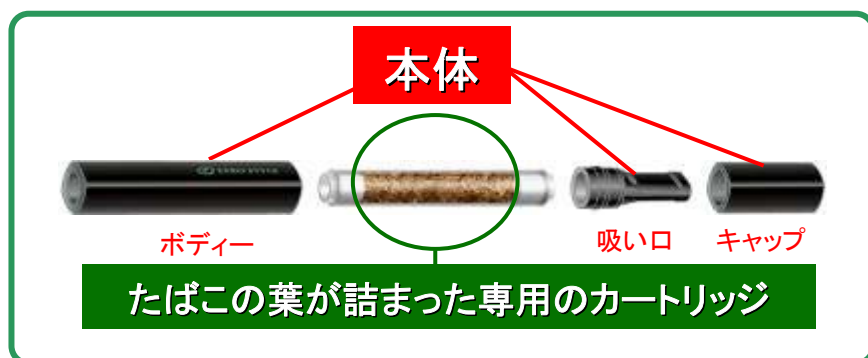
火を使わず、煙の出ない無煙たばこ「ゼロスタイル・ミント」を5月より東京都限定で発売開始
お客様の多様なニーズにお応えした全く新しいスタイルのたばこ

■ 神奈川県へと販売を拡大

増産体制の強化により、11月中旬から神奈川県でも販売開始、多くのお客様からご好評をいただく

■ 全国拡販に向けて

全国のお客様の拡大販売へのご要望に1日でも早くお応えできるよう、引き続き製造能力の更なる強化に努める



このスライドは投資家に事業を説明する目的で作成されたものです。
消費者へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません。

国内たばこ事業：ピアニッシモからの新商品

■「ピアニッシモ・スーパースリム・メンソール・ワン」



2010年11月より全国で好評発売中

- スーパースリム(極細巻き)を採用
- フィルターにフレーバー・スレッドを搭載することで強めのメンソール感を実現
- ピアニッシモブランドの特徴である「D-spec機能」を搭載
- 上品なシャンパンゴールドをベースにモチーフにジュエリーを採用

スーパースリム(極細巻き)商品の特徴

- ♪ 巻が細いため、他商品と同様に20本包装した場合でも、パッケージがコンパクトとなり、持ち運びやすく、かさばらない
- ♪ 指で挟んだり、口に咥えた際にもすっきり見えるという特徴があるほか喫煙後の吸殻の見た目も通常のたばこに比べ、小さくコンパクト

このスライドは投資家に事業を説明する目的で作成されたものです。
消費者へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません。

国内たばこ事業：マイルドセブンからの新商品

■「マイルドセブン・ディースペック・ワン・100's・ボックス」



2011年1月中旬より全国で発売開始

- JTの先進技術でたばこの嫌なニオイを抑えるD-spec機能を搭載
- タール1mgなのに喉ごし濃厚で深みのある味・香り
- マットブラックをベースカラーにブルーの「D」アイコン
- スタイリッシュさと上品さを兼ね備えた「ラウンド・コーナー・ボックス」を採用



Decreased = 低減した

Decent = 上品な

Delicious = 美味しい

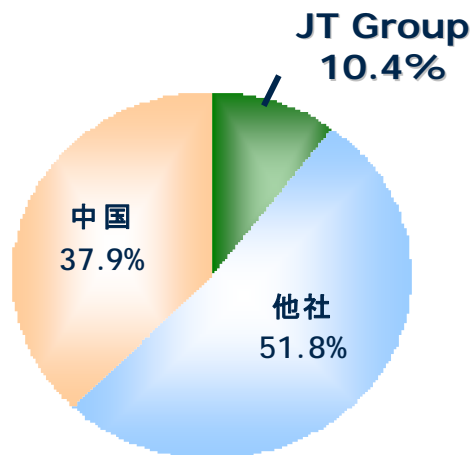
* D-specとは、JTの技術力でたばこの嫌な「におい」を低減させ、良い香りを楽しめる商品の総称

このスライドは投資家に事業を説明する目的で作成されたものです。
消費者へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません。

海外たばこ事業：概況

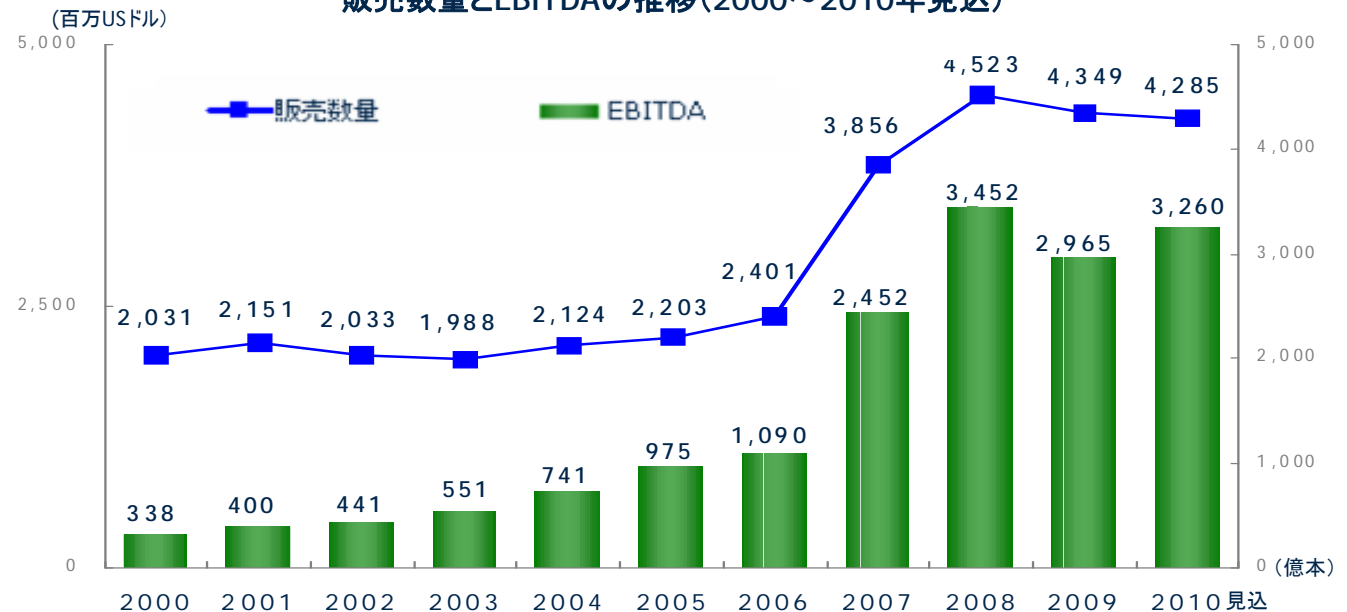
- 約10億本の販売数量から海外たばこ事業がスタート(1985年)
- 1999年：RJRナビスコから米国外のたばこ事業を買収
- 2000年-2006年：一貫した戦略の遂行により6年連続2桁の利益成長実現
- 2007年：ギャラハー社買収
- 現在、120カ国以上の国と地域で事業を展開
- 2009年度の販売数量は4,349億本

各社シェア(2009年)



出典:Euromonitor

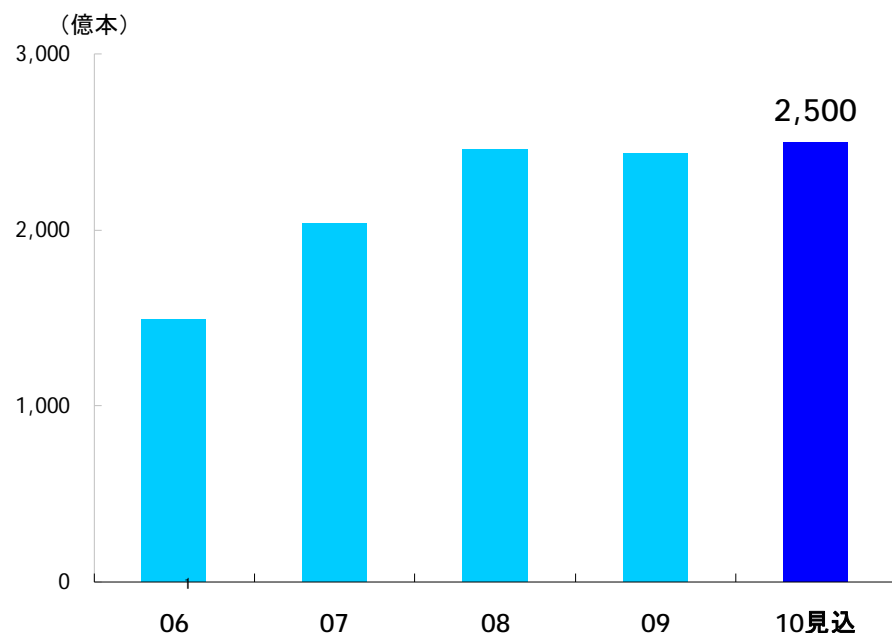
販売数量とEBITDAの推移(2000~2010年見込)



海外たばこ事業：グローバル・フラッグシップ・ブランド(GFB)

■ グローバル・フラッグシップ・ブランド(GFB)の8銘柄は、JTIブランド・ポートフォリオの中核をなすもので質の高いトップライン成長を牽引

GFB販売数量推移



Engine

JTIの成長を支えるブランド



Stronghold

各地域で強いプレゼンスがあり競争力を高めているブランド



Future Potential

将来の力強い成長が期待できるブランド



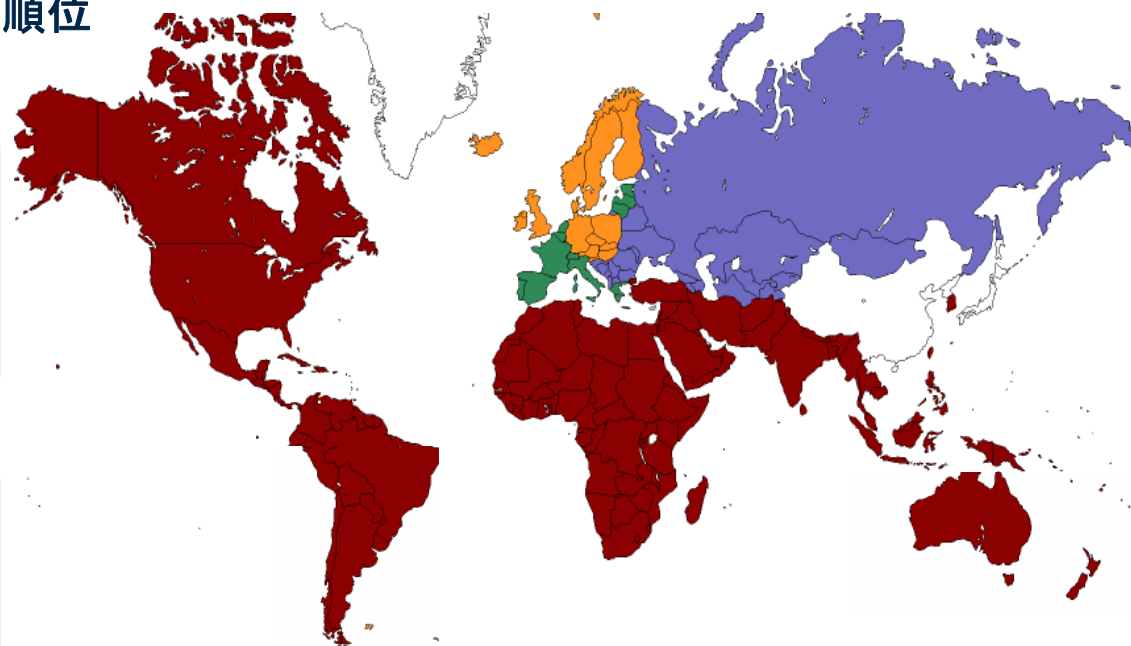
海外たばこ事業：グローバル成長

地域別販売数量と主要市場におけるシェア順位 (2009)

North & Central Europe			
475億本			
市場順位			
英国	第2位	アイルランド	第1位
オーストリア	第2位	スウェーデン	第1位

South & West Europe			
645億本			
市場順位			
スペイン	第3位	フランス	第4位
イタリア	第3位	ギリシャ	第3位

CIS+			
2,146億本			
市場順位			
ロシア	第1位	カザフスタン	第2位
ウクライナ	第2位	ルーマニア	第3位



Rest of the World			
1,084億本			
市場順位			
台湾	第1位	マレーシア	第2位
トルコ	第3位	カナダ	第3位

医薬事業

取り組み・方針

- 後期開発品を含む臨床開発力の強化と創薬研究力の更なる向上
- 導出入活動の充実と海外パートナーとの連携強化
- グループ会社、鳥居薬品(株)の得意領域の更なる強化・育成

JTの重点研究開発領域



臨床開発品目(2010年10月28日現在)

開発名	主な適応症	開発段階
JTT-705(経口)	脂質異常症	国内:Phase2
JTT-130(経口)	脂質異常症	国内:Phase2 海外:Phase2
JTK-303(経口)	HIV感染症	国内:Phase1
JTT-302(経口)	脂質異常症	海外:Phase2
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内:Phase2
JTS-653(経口)	鎮痛、過活動膀胱	国内:Phase2
JTK-656(経口)	HIV感染症	海外:Phase1
JTT-751(経口)	高リン血症	国内:Phase2
JTK-853(経口)	C型肝炎	海外:Phase1
JTT-851(経口)	2型糖尿病	国内:Phase1

JTT-705:ロシュ社(スイス)へ導出、同社でPhase3
 JTK-303:ギリアド・サイエンシズ社(米国)へ導出、同社でPhase3
 JTT-305:メルク社(米国)へ導出

食品事業

取り組み・方針

- 一番大切な人に食べてもらいたい」という想いで、「お客様においしく、安心してお召し上がりいただける」商品づくり
- 飲料・加工食品・調味料事業の3分野に注力し、最高水準の安全管理に向けた取り組みを推進するとともに将来の成長に向けた事業基盤の更なる強化

■ 飲料事業

- 発売10周年を迎えた基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化
- ジャパンビバレッジを中心とした販売網充実



■ 加工食品事業および調味料事業

- 2010年より、加ト吉はテーブルマークへ社名を変更
- ステープル(主食)や調味料(酵母エキス)への戦力集中により収益力を向上
- 冷凍うどん・パックご飯の最新鋭工場「魚沼水の郷工場」が11月1日より稼動



■ 最高水準の食の安全管理の推進

- 「リスク低減に向けた取り組み」
- 「お客様への対応の強化」
- 「組織・体制の強化」



魚沼水の郷工場



CSR活動：社会・環境への取り組み



■喫煙スペースの設置とマナー啓発活動

全国の自治体と協働で喫煙スペースを設置することにより、ポイ捨て防止や喫煙マナーの向上に取り組むとともに、“あなたが気づけばマナーは変わる”をキャッチフレーズに、マナー広告を通してたばこを吸われる方の周囲への配慮、たばこを吸われない方への気遣いの必要性を訴えています。



■ひろえば街が好きになる運動

2004年から、ごみを「ひろう」という体験を通じて「すてない」気持ちを育てたいという願いを込めて実施しています。



■社会福祉/文化・芸術/環境保全/被災地域への支援

社会と共生する「良き企業市民」であることを目指し、「社会福祉」「文化・芸術」「環境保全」「被災地域への支援」を重点分野とし、継続的に社会貢献活動に取り組んでいます。



■森林保全活動

事業を支えてくれる自然への感謝の想いと企業の社会的責任を果たす観点から、国内9ヶ所、海外4ヶ国で植林/森林保全活動を行っています。

株主還元

1株当たり配当金の推移



配当

中期経営計画「JT-11」において、中期的な連結配当性向(のれん償却影響を除く)30%を目指し、安定的・継続的な配当水準を引き上げる

※2006年4月1日に1:5の株式分割を実施。2006年3月以前の配当は遡及して修正。

株主優待・株主様とのコミュニケーション

■株主優待

■年2回、当社グループ商品を選択制にて贈呈

- 1株以上保有の株主様に2,000円相当の当社グループ商品
- 5株以上保有の株主様に3,000円相当の当社グループ商品（下記に掲載）



①飲料及びご飯詰め合せセット



②ご飯詰め合せセット



③ジェントリースープ及び中華調味料詰め合せセット

■株主様とのコミュニケーション



■個人投資家向け ホームページの新設



■業績報告書 （年4回発行）

JT=「グローバル成長企業」

弊社に関する更に詳しい情報は:

<http://www.jti.co.jp/>



個人投資家様向けホームページ:

<http://www.jti.co.jp/investors/individual/index.html>

弊社の飲料製品は下記サイトにてお求めいただけます:

<http://www.shopjt.com/>



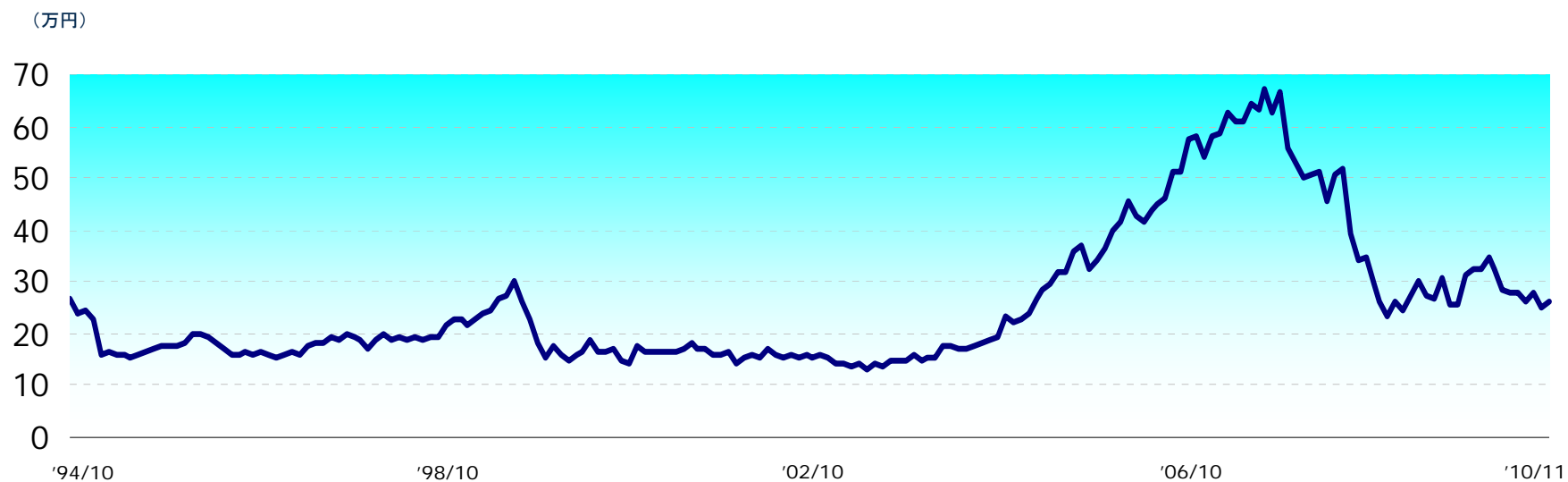
また、テーブルマークの加工食品は下記サイトにてお求めいただけます:

<http://www.tablemark.co.jp/online/index.html>



(参考) 株価動向

■ 株価動向※(月間、終値)【1994年10月1日上場時~2010年11月30日】



■ 株式分割の実施

2006年4月1日、株式1株につき5株の割合で株式分割を実施

※2006年4月1日に1:5の株式分割を実施。2006年3月以前の株価は遡及して修正。